

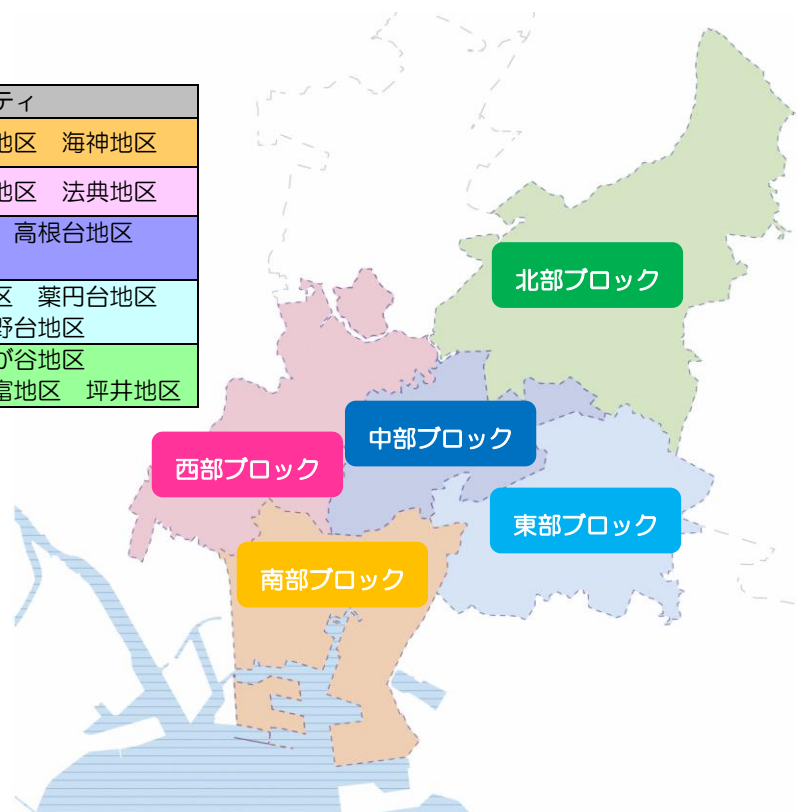
8. 各行政ブロックの現状と施策の展開

船橋市は、市域を以下のとおり5行政ブロック、24地区コミュニティにわけており、それぞれに特徴があります。市では、基本的に地区コミュニティごとに公民館を設置しており、それぞれの公民館が、その地区コミュニティの地域性を考慮しながら様々な事業を実施しています。

ここでは、推進計画を効果的に実行することを目的として、行政ブロックごとに、他ブロックと比較しながら現状や特徴、特に積極的に推進する取組等について整理し、主に、地域の拠点となる公民館が事業を検討する際の資料とします。

(1) 行政ブロック区分

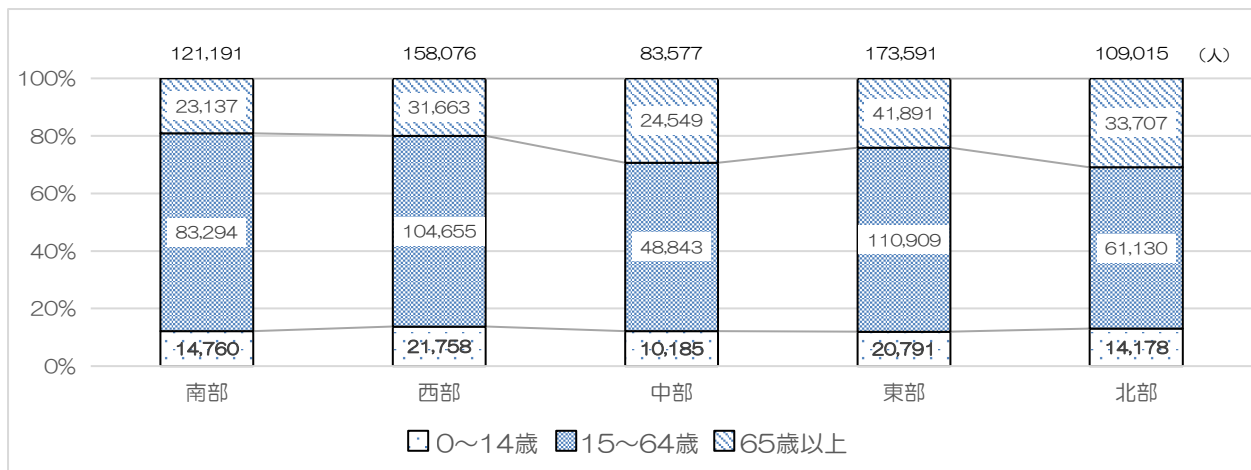
行政ブロック	地区コミュニティ
南部ブロック	宮本地区 湊町地区 本町地区 海神地区
西部ブロック	葛飾地区 中山地区 塚田地区 法典地区
中部ブロック	夏見地区 高根・金杉地区 高根台地区 新高根・芝山地区
東部ブロック	前原地区 二宮・飯山満地区 薬円台地区 三山・田喜野井地区 習志野台地区
北部ブロック	二和地区 三咲地区 八木が谷地区 松が丘地区 大穴地区 豊富地区 坪井地区



(2) 行政ブロック別人口動向

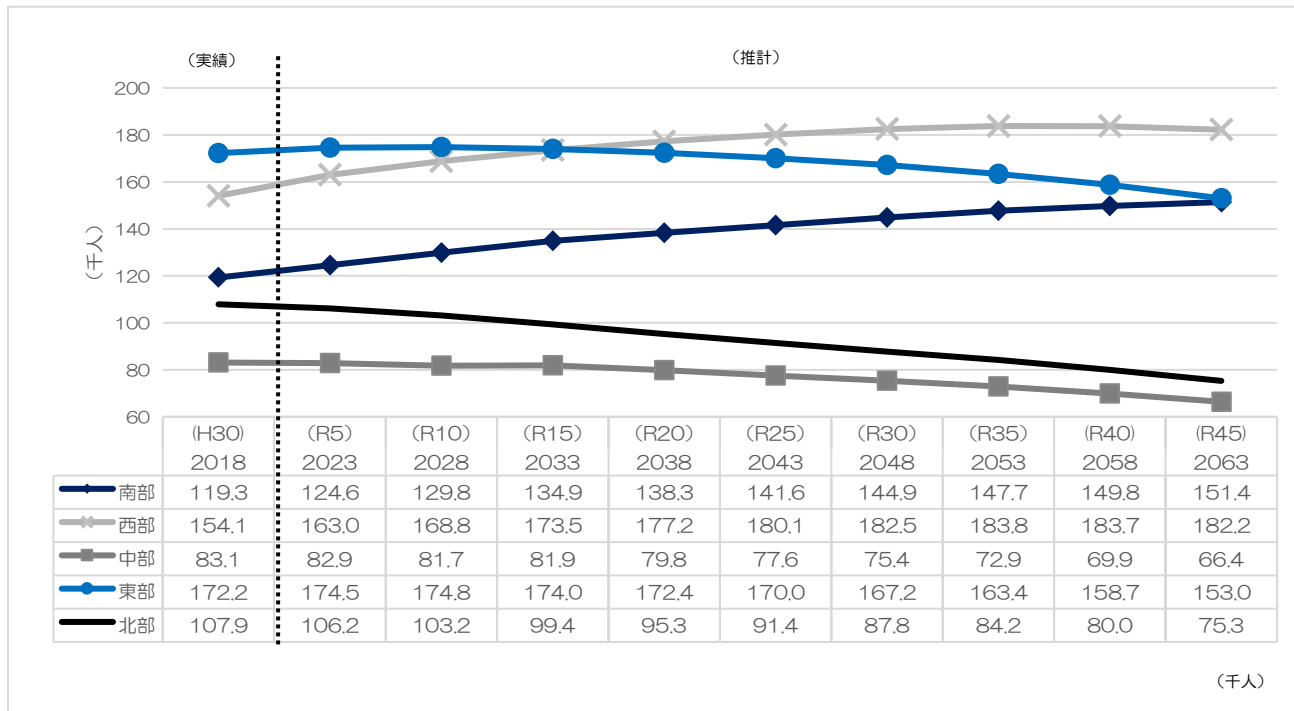
① 年齢（3区分）別人口割合（令和3年4月1日時点）

中部・北部ブロックは、他のブロックと比較し、65歳以上人口の割合が高くなっています。



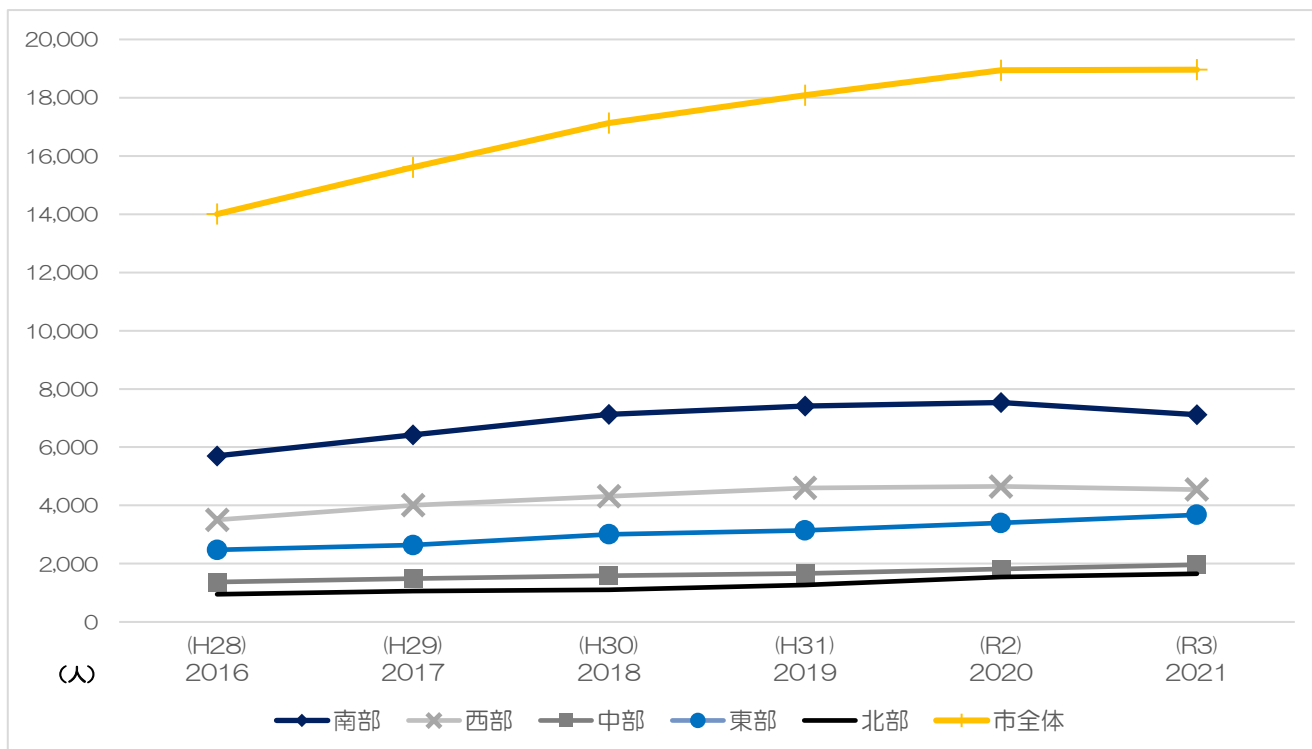
② 人口推計 (令和元年5月時点)

南部・西部ブロックは当面の間継続して増加しますが、中部・東部・北部ブロックは減少する見込みです。



③ 外国人住民の人口推移 (各年4月1日時点)

南部ブロックが最も人数が多くなっていますが、2番目に多い西部ブロックとともに、令和3年度に減少しました。中部・東部・北部ブロックは、継続して増加傾向です。



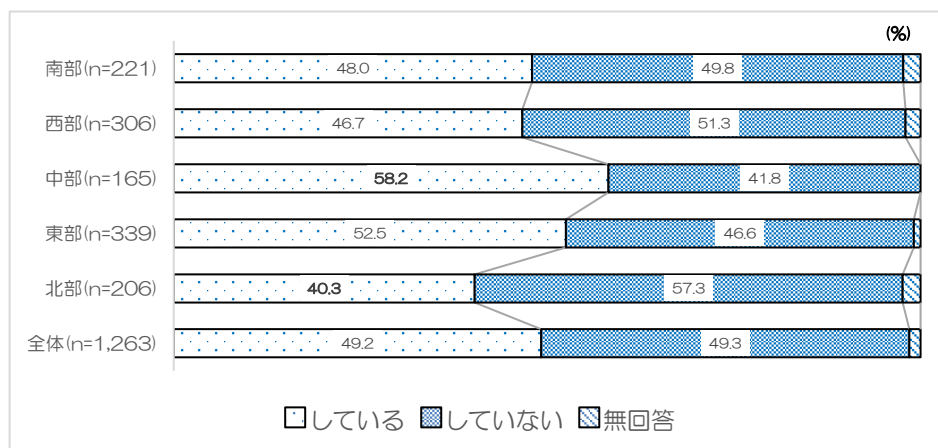
(3) 行政ブロック別「生涯学習に関するアンケート」結果（抜粋）

※結果の表示方法は、15ページ「2.生涯学習に関するアンケート」結果と同様です。
※居住地域について無回答があったため、各行政ブロックのn数の合計は市全体のn数と一致しません。

① 現在の生涯学習・活動状況

【Q7】あなたは、現在、継続して何かを学んだり、活動したりしていますか。（〇は1つ）

中部・東部ブロックで、「している」の割合が、「していない」の割合より高く、南部・西部・北部ブロックで、「していない」の割合が、「している」の割合より高くなっています。

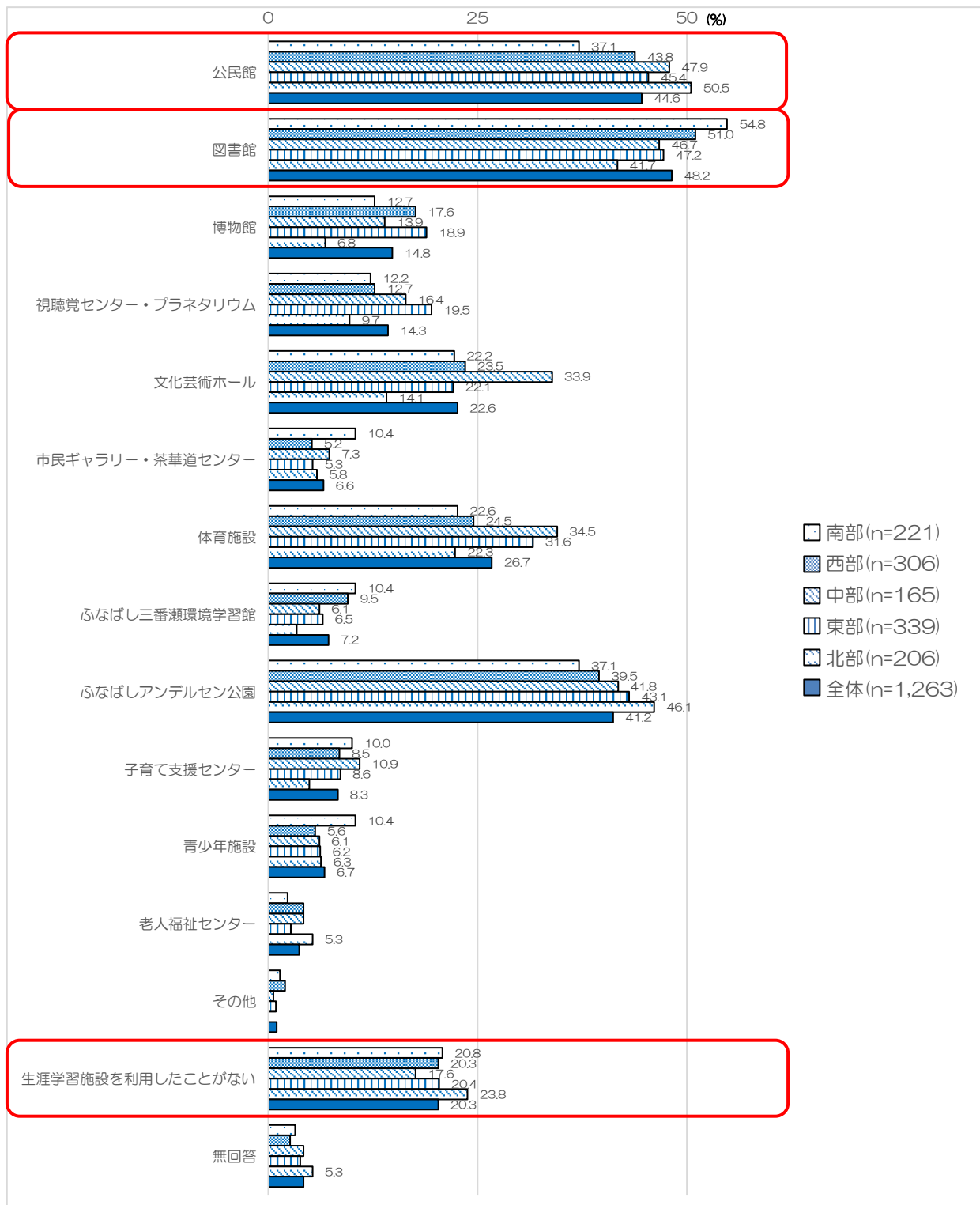


② 市の事業・施策、施設の活用状況

【Q11】あなたが利用したことがある生涯学習施設はどれですか。(〇はいくつでも)

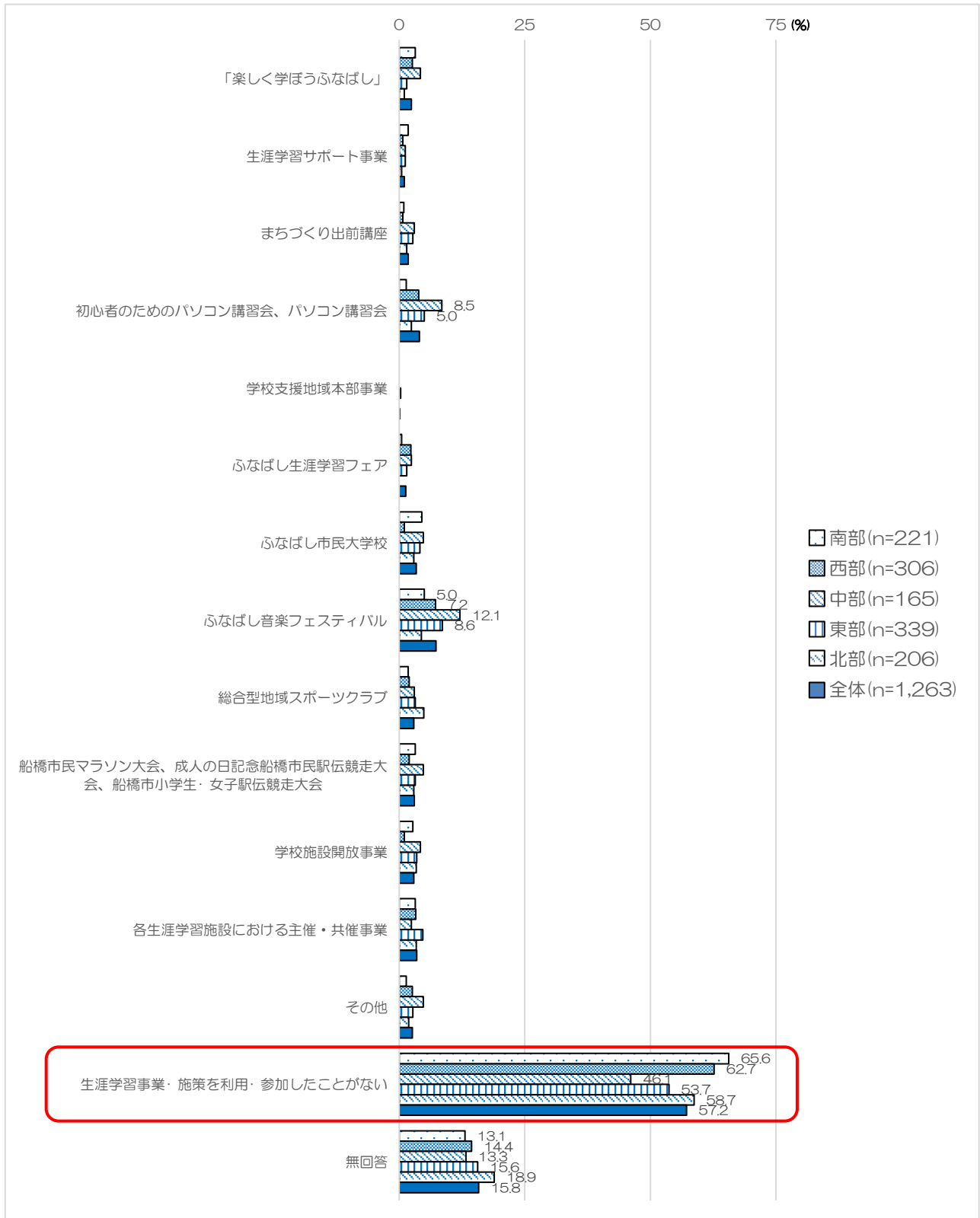
南部・西部・東部ブロックでは、「図書館」、中部・北部ブロックでは「公民館」が最も多く選択されました。

いずれのブロックでも、「生涯学習施設を利用したことがない」が20%程度選択されました。



【Q12】 次のうち、あなたが知っていて、利用・参加したことがある船橋市の生涯学習事業・施策はどれですか（〇はいくつでも）

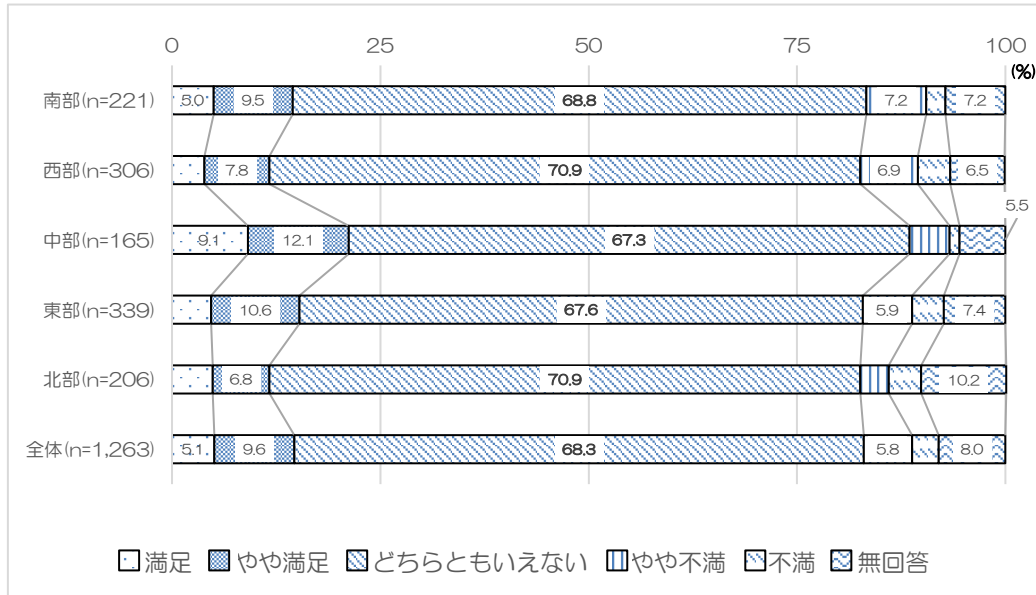
いずれのブロックでも、「生涯学習事業・施策を利用・参加したことがない」が最も多く選択されました。



【Q13】あなたは、船橋市の生涯学習環境（施設、事業・施策など）にどの程度満足していますか。（〇は1つ）

いずれのブロックでも「どちらともいえない」の割合が最も高く、70%程度でした。

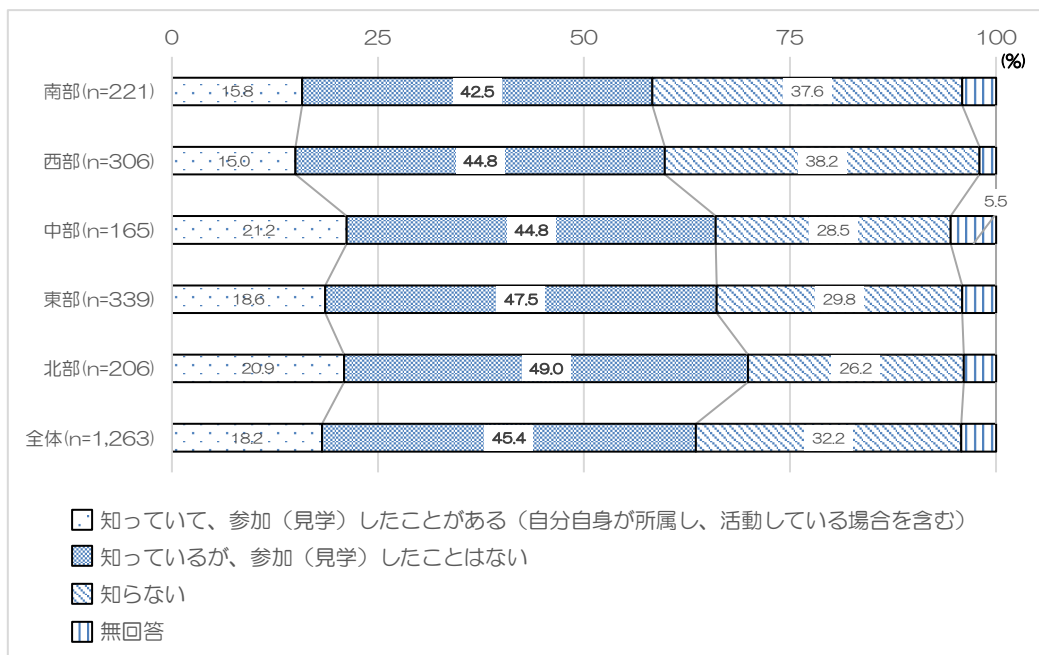
「生涯学習施設を利用したことがない」割合が最も低い中部ブロックでは、「満足」と「やや満足」を合わせた「満足している」割合が、他ブロックと比較して高くなっています。



【Q10】あなたは、公民館で様々な学習・活動分野のサークル活動が行われていることを知っていますか。（公民館でサークル活動している人の話を聞いたことがありますか）（〇は1つ）

いずれのブロックでも「知っているが、参加（見学）したことはない」が最も割合が高く、45%程度でした。

南部・西部ブロックは、他ブロックと比較して、「知らない」の割合が高くなっています。

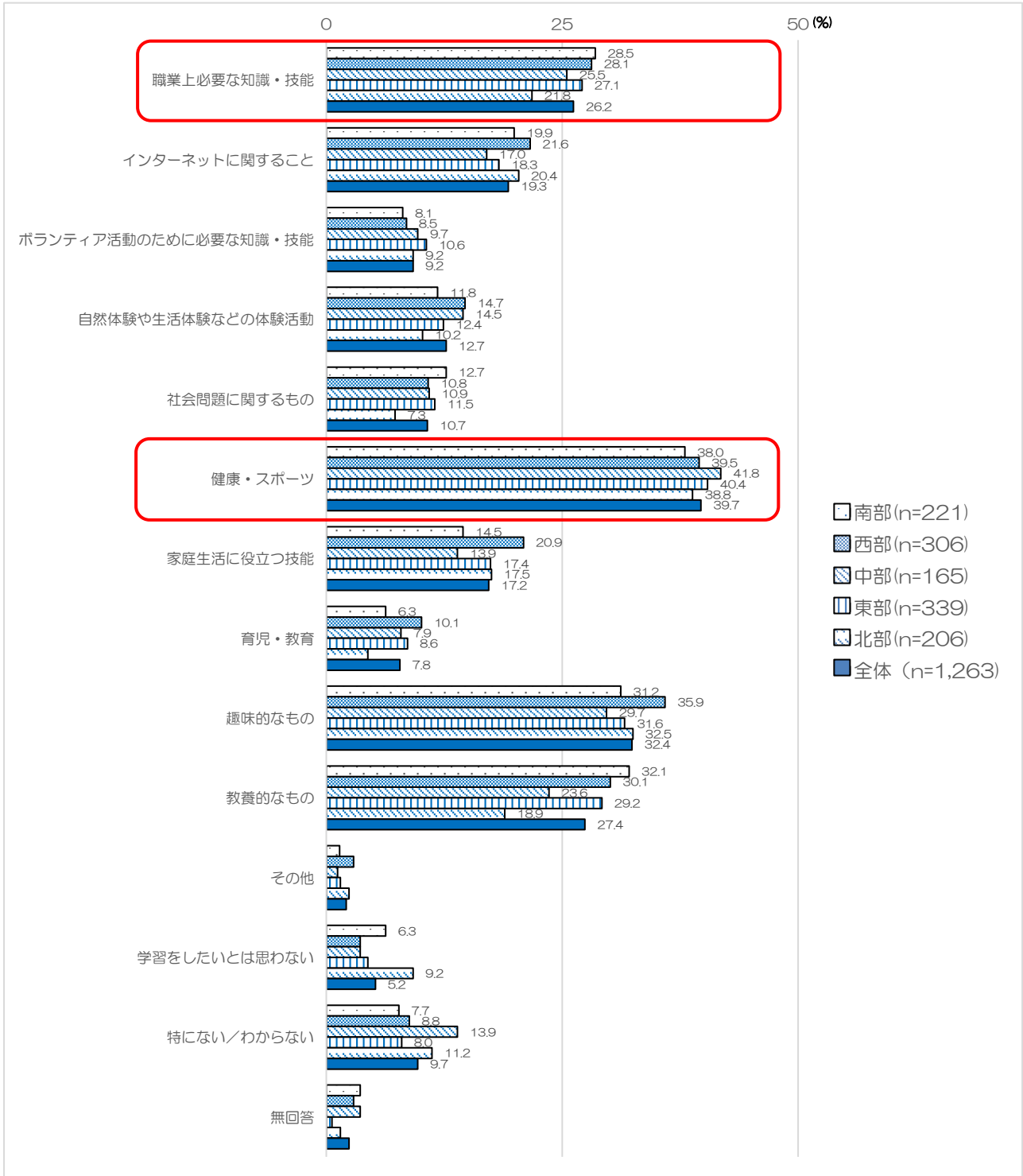


③ 今後、新たに学習したい内容

【Q8】 今後、新たに学習を始めるとすれば、どのようなことを学習したいですか。（〇はいくつでも）

いずれのブロックでも、「健康・スポーツ」が最も多く選択されました。

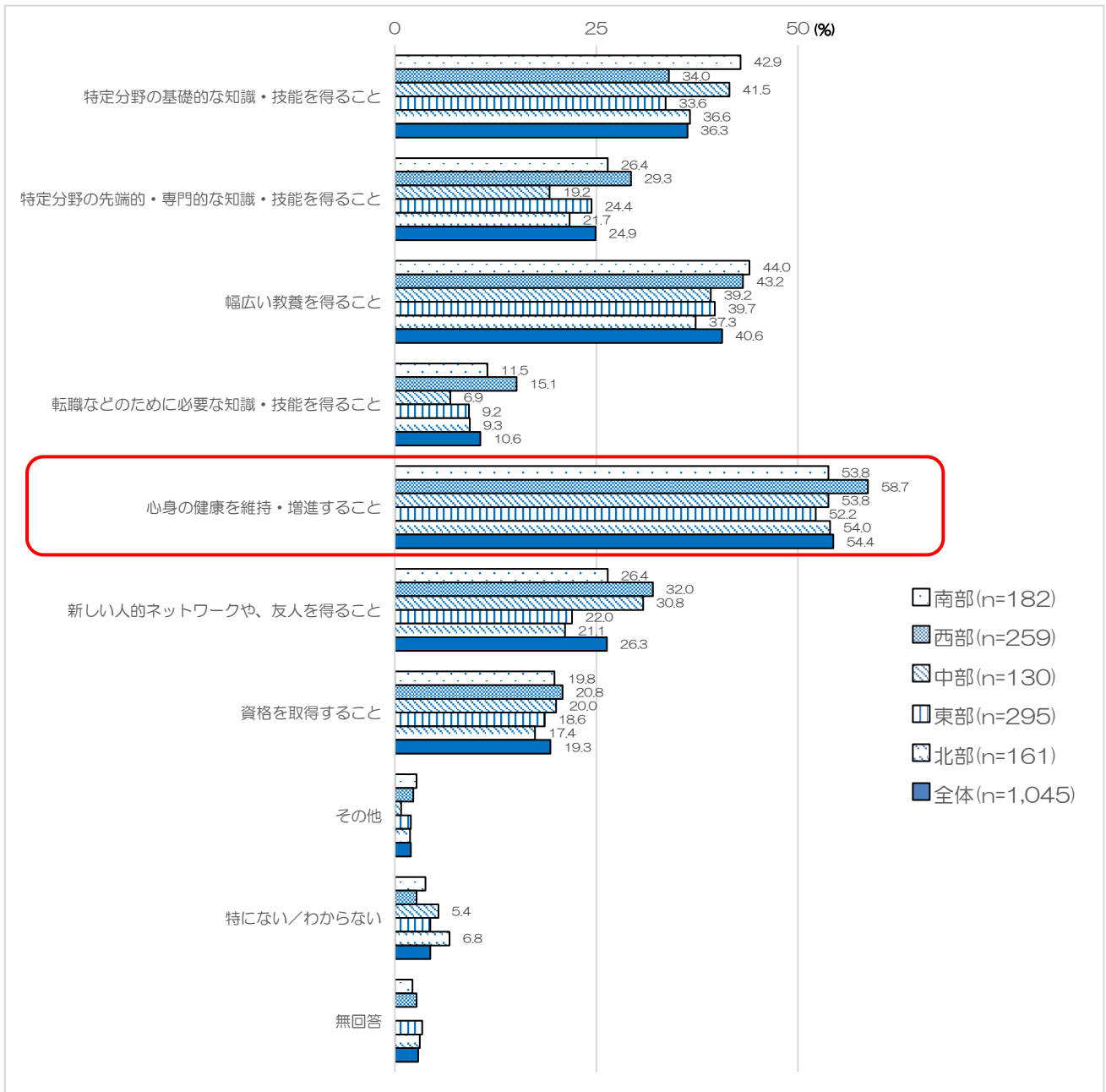
南部・西部・東部ブロックは、他2ブロックと比較し、「職業上必要な知識・技能」が多く選択されています。



【Q8-2】これから学習するとき、どのような成果を期待しますか。(〇はいくつでも)

(Q8「今後、新たに学習を始めるとすれば、どのようなことを学習したいですか。(〇はいくつでも)」で「1」～「11」のいずれかをお答えの方に)

いずれのブロックでも、「心身の健康を維持・増進すること」が最も多く選択されました。



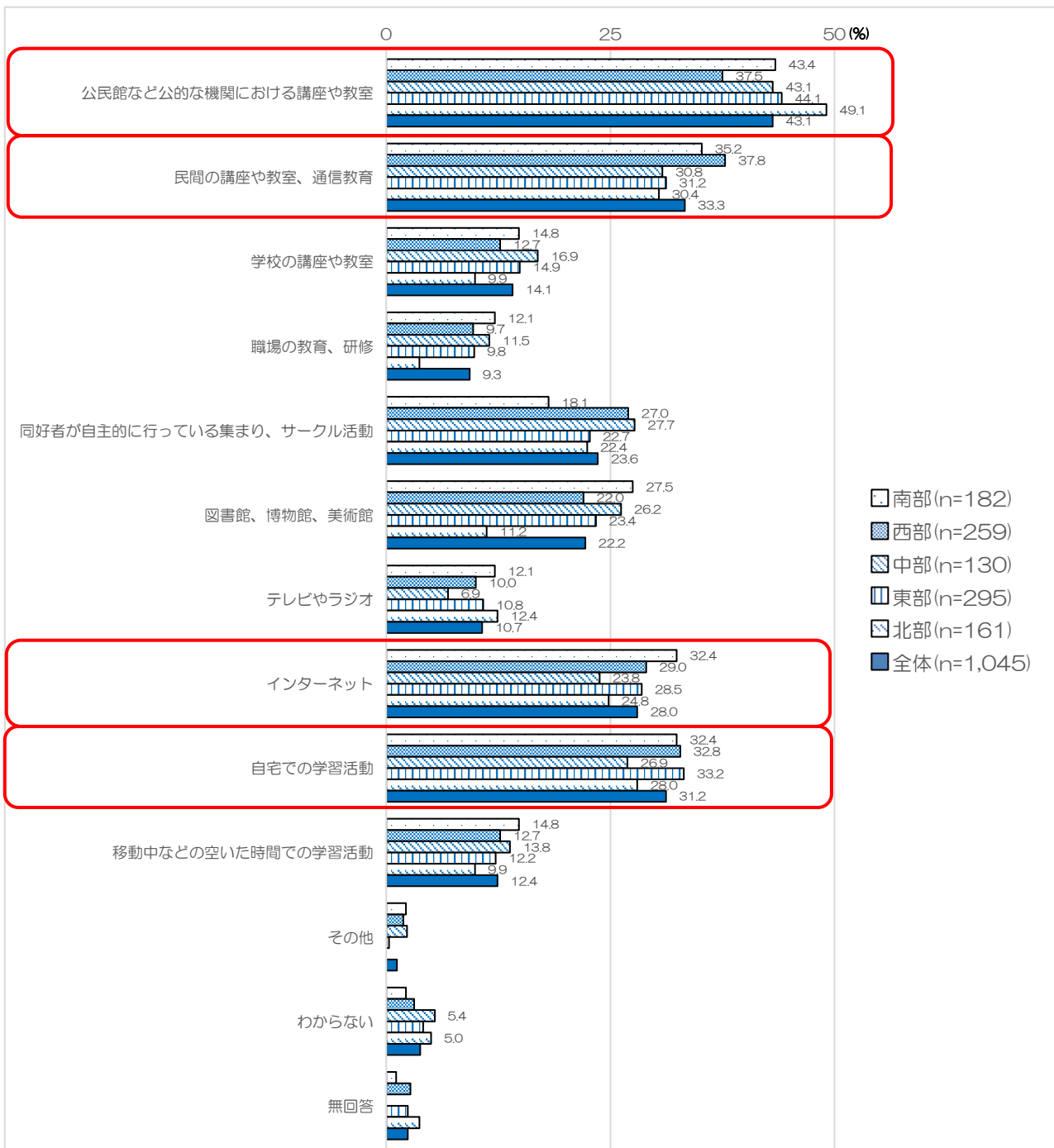
④ 今後、希望する学習形態・場所

【Q8-1】あなたは、今後どのような形態や場所で学習したいと思いますか。(〇はいくつでも)

(Q8「今後、新たに学習を始めるとすれば、どのようなことを学習したいですか。(〇はいくつでも)」で「1」～「11」のいずれかをお答えの方に)

5ブロック中4ブロックで「公民館などの公的な機関における講座や教室」、西部ブロックのみ「民間の講座や教室、通信教育」が最も多く選択されました。

南部・西部・東部ブロックは、他2ブロックと比較し、「インターネット」「自宅での学習活動」が多く選択されています。



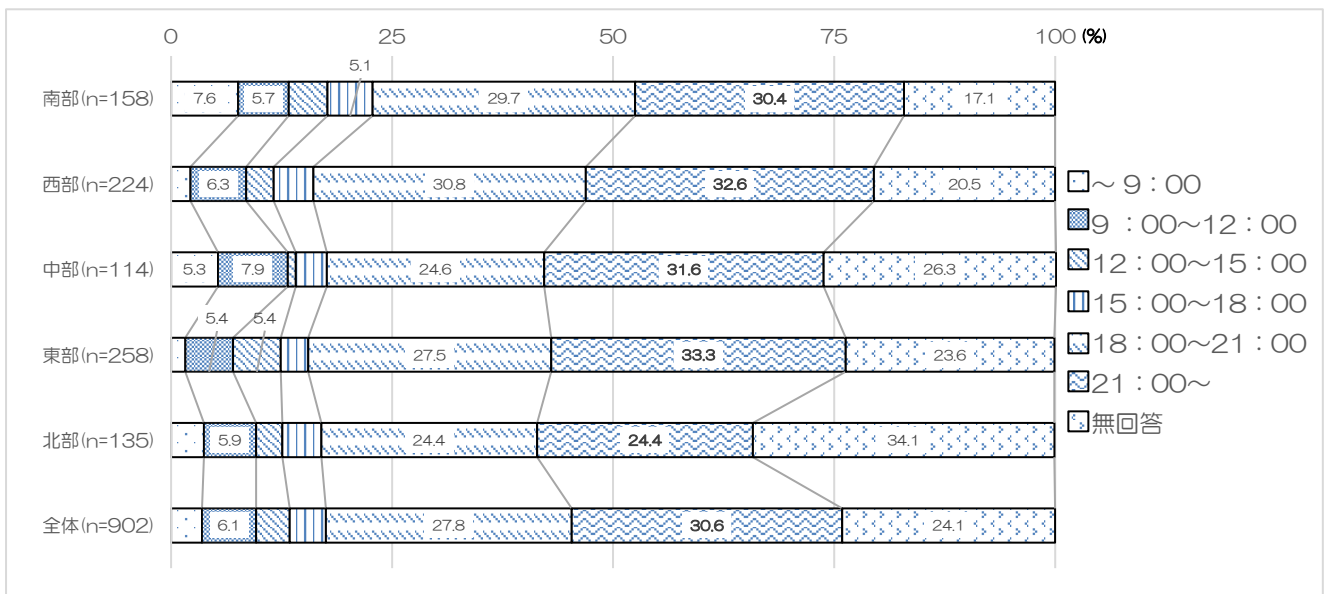
【Q8-3】あなたが、学習や活動をするのに最も都合がいい時間帯はいつですか。仕事または学校などが「ある日」と「ない日」についてお答えください。（〇はそれぞれ1つ）

（Q8「今後、新たに学習を始めるとすれば、どのようなことを学習したいですか。（〇はいくつでも）」で「1」～「11」のいずれかをお答えの方に）

■仕事または学校などが「ある日」

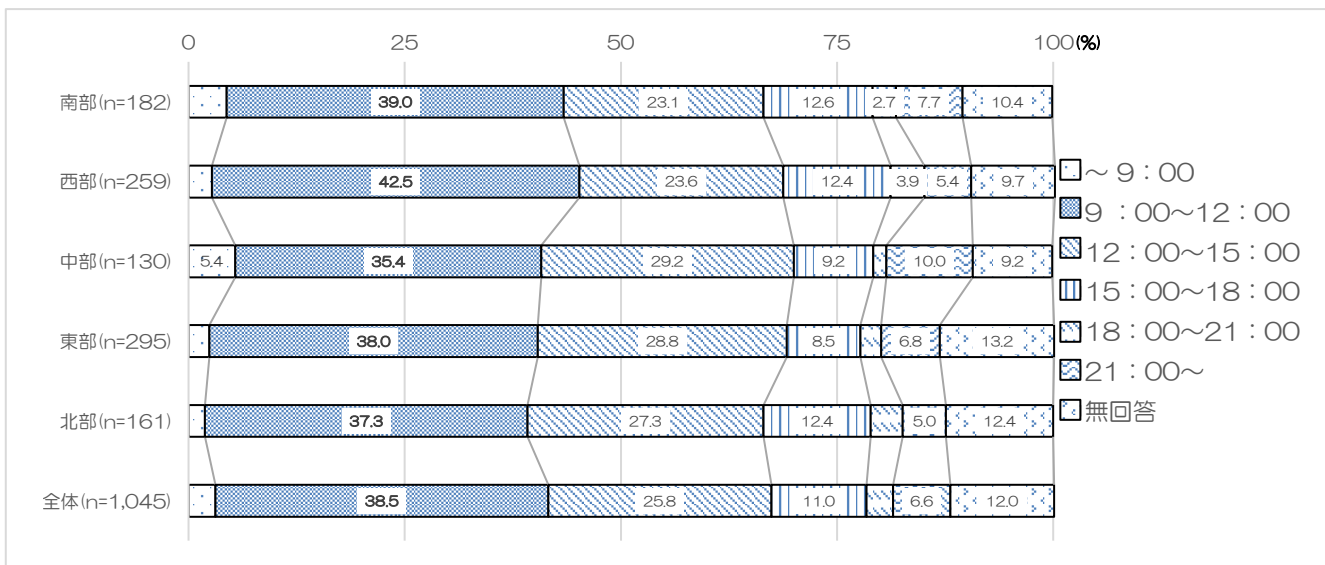
※回答の選択肢には「仕事や学校などには行っていない」を設定しましたが、ここではその回答を除き、割合を算出しました。

無回答を除くと、いずれのブロックでも「21:00～」が最も多く選択されました（北部ブロックのみ「18:00～21:00」と同率）。すべてのブロックで約50～60%程度が18:00以降の夜間帯が都合がよいと回答しています。



■仕事または学校などが「ない日」、または仕事や学校などには行っていない方

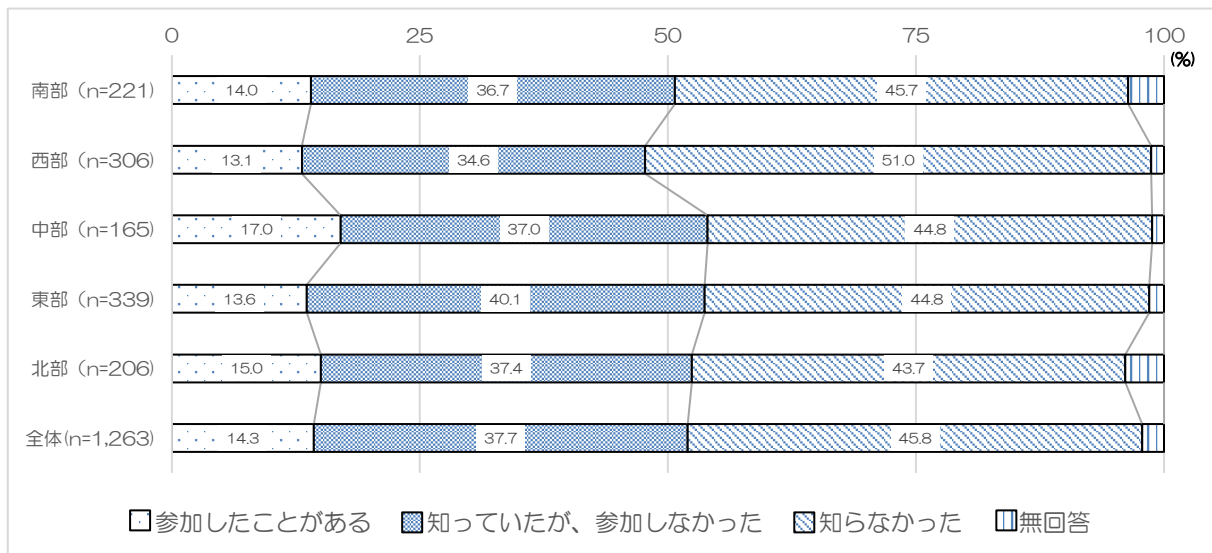
いずれのブロックでも「9:00～12:00」が最も多く選択されました。



⑤ 今後、希望する情報収集方法

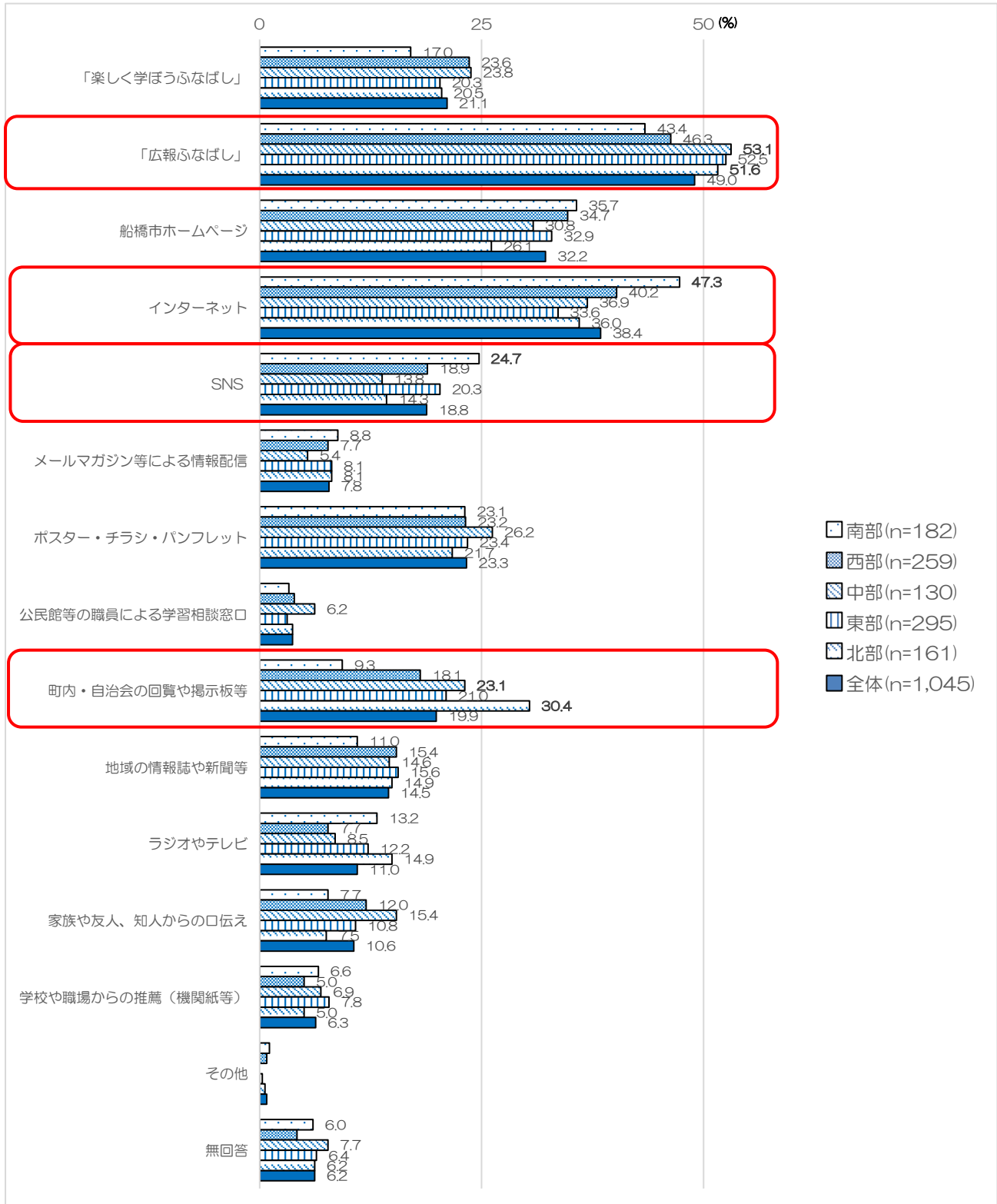
【Q6】あなたは、この1年間に船橋市（公民館を含む）が主催した講演会・学習会・催し物に参加したことがありますか。（〇は1つ）

いずれのブロックでも、（市主催の講演会・学習会・催し物があることを）「知らなかった」の割合が最も高く、45%程度でした。



【Q8-10】あなたは、今後、生涯学習に関する情報をどのような方法で得られたら便利だと思いますか。(〇はいくつでも)
 (Q8「今後、新たに学習を始めるとすれば、どのようなことを学習したいですか。(〇はいくつでも)」で「1」～「11」のいずれかをお答えの方に)

南部ブロック以外のブロックで、「広報ふなばし」が最も多く選択されました。南部ブロックでは、他ブロックと比較して「インターネット」「SNS」といった電子媒体の選択肢、中部・北部ブロックでは、「広報ふなばし」「町内・自治会の回覧や掲示板等」といった紙媒体の選択肢が多く選択されました。



⑥ 学びの成果の活用について

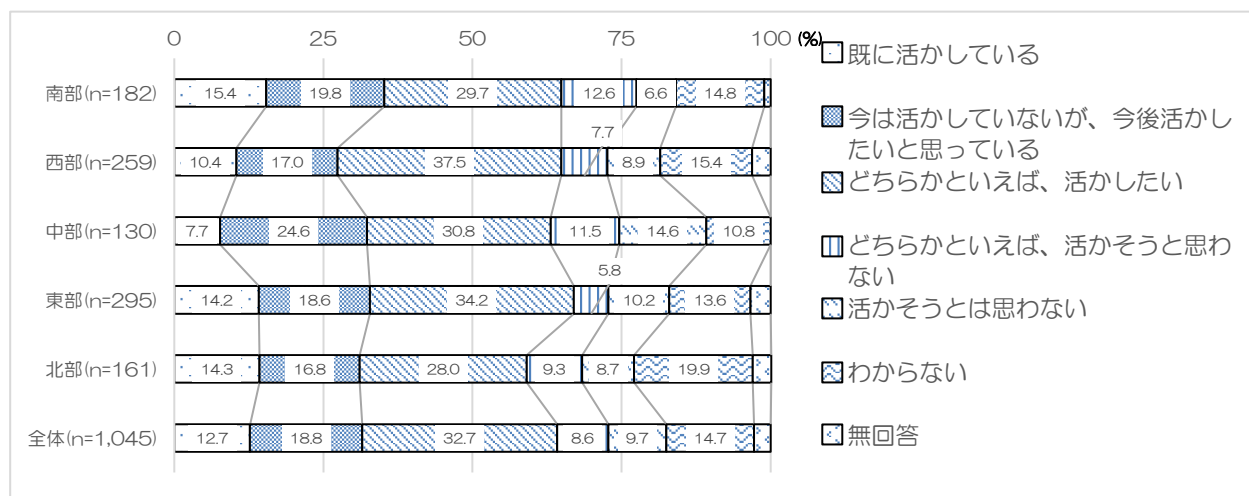
【Q8-4】あなたは、学びの成果を自分以外のために活かしたいと思えますか。(〇は1つ)

(Q8「今後、新たに学習を始めるとすれば、どのようなことを学習したいですか。(〇はいくつでも)」で「1」～「11」のいずれかをお答えの方に)

いずれのブロックでも「どちらかといえば、活かしたい」の割合が最も高く、30～40%程度でした。

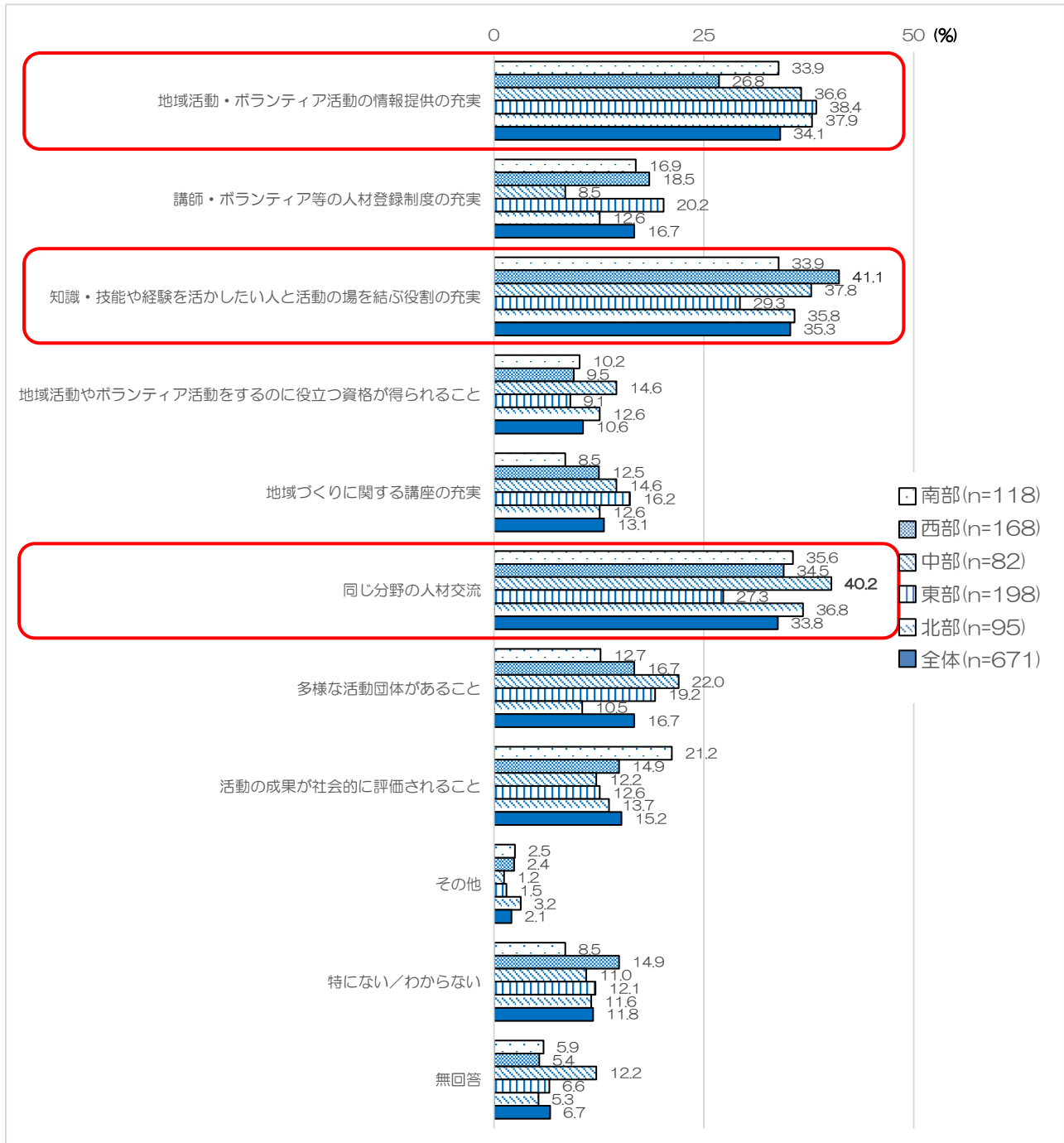
「今は活かしていないが、今後活かしたいと思っている」と「どちらかといえば、活かしたい」を合わせた「これから地域・社会での活躍が期待される人材の割合」は、中部ブロックで最も高く55.4%、北部ブロックで最も低く44.8%でした。

「既に活かしている」「今は活かしていないが、今後活かしたいと思っている」「どちらかといえば、活かしたい」を合わせた「地域で活躍する人材の割合(これから地域・社会での活躍が期待される人材を含む)」は、東部ブロックで最も高く67.0%、北部ブロックで最も低く59.1%でした。



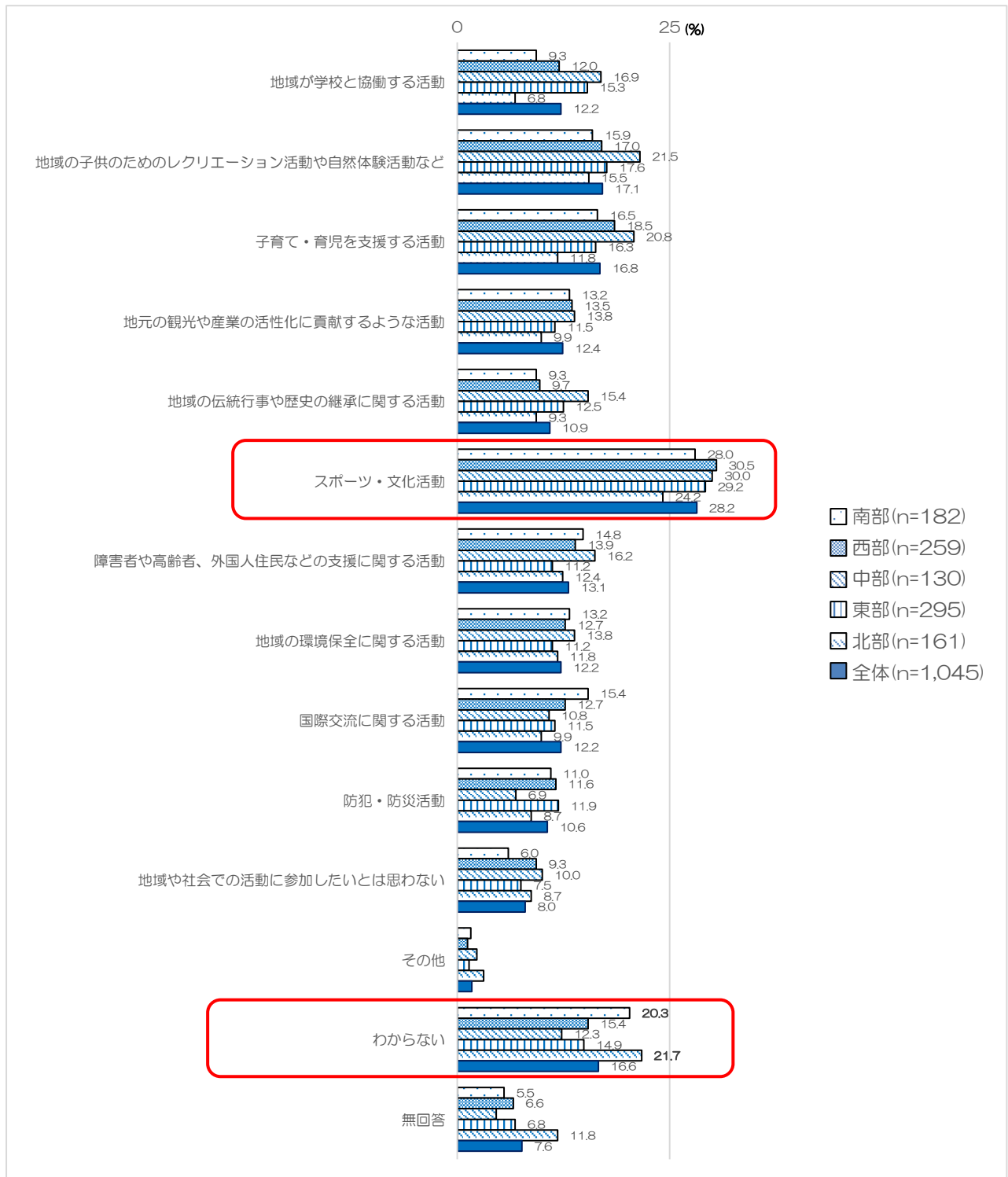
【Q8-7】あなたは、学びの成果を自分以外のために活かそうとする時、必要なことは何だと思いますか。(〇はいくつでも)
 (Q8-4で「1 既に活かしている」、「2 今は活かしていないが、今後活かしたいと思っている」、「3 どちらかといえば、活かしたい」とお答えの方に)

南部・中部ブロックは「同じ分野の人材交流」、西部ブロックは「知識・技能や経験を活かしたい人と活動の場を結ぶ役割の充実」、東部・北部ブロックは「地域活動・ボランティア活動の情報提供の充実」が最も多く選択されました。



【Q8-9】あなたは、地域や社会でどのような活動に参加してみたいと思いますか。(〇はいくつでも)
 (Q8「今後、新たに学習を始めるとすれば、どのようなことを学習したいですか。(〇はいくつでも)」で「1」～「11」のいずれかをお答えの方に)

いずれのブロックでも、「スポーツ・文化活動」が最も多く選択されました。
 南部・北部ブロックでは、他ブロックと比較して「わからない」が多く選択されました。

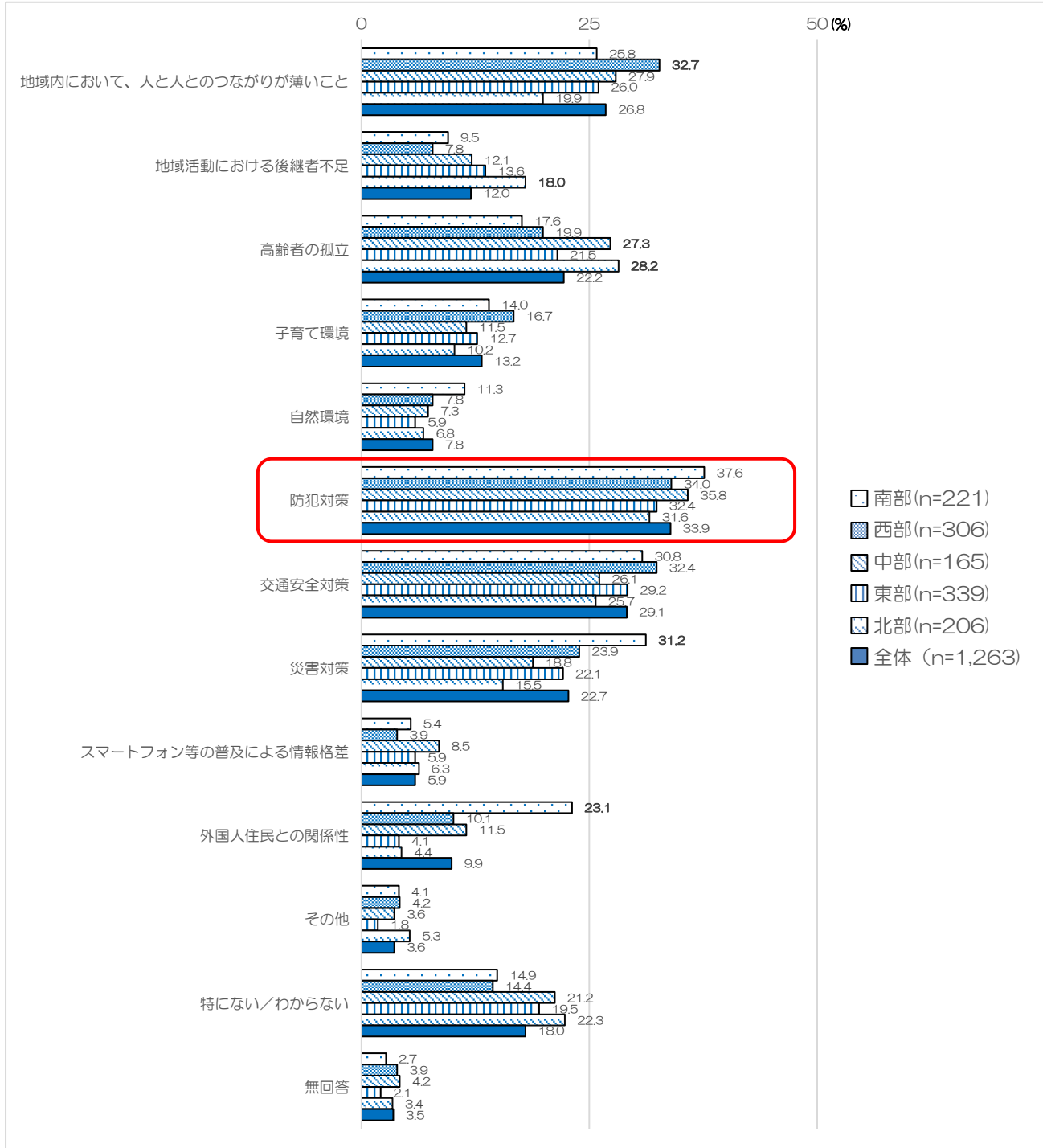


⑦ 地域の課題

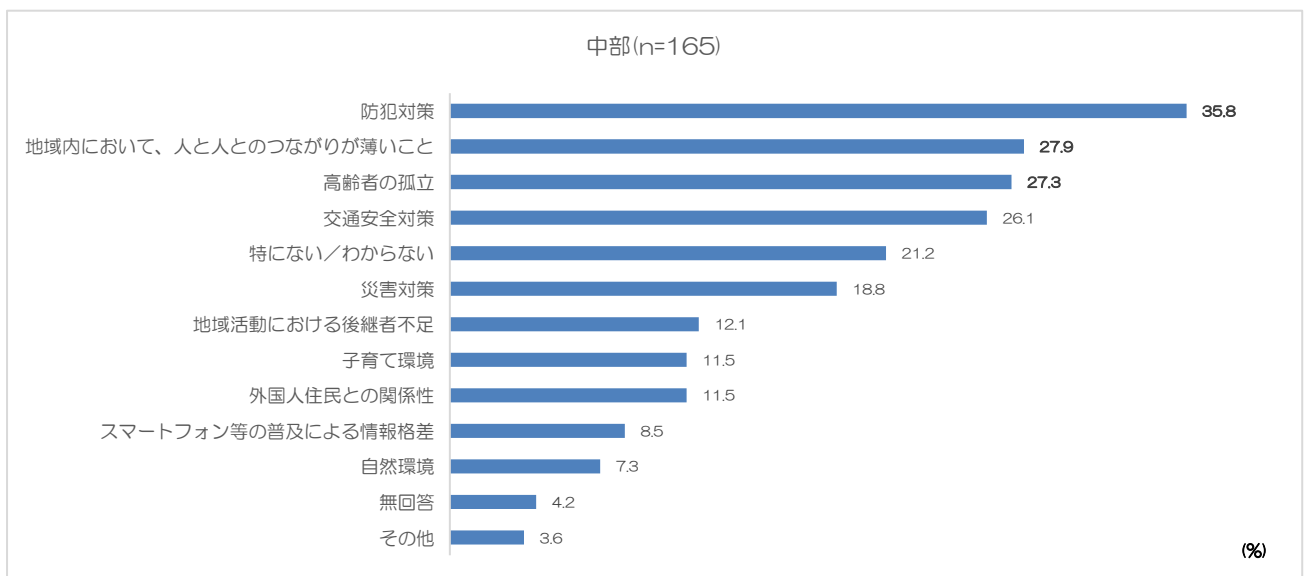
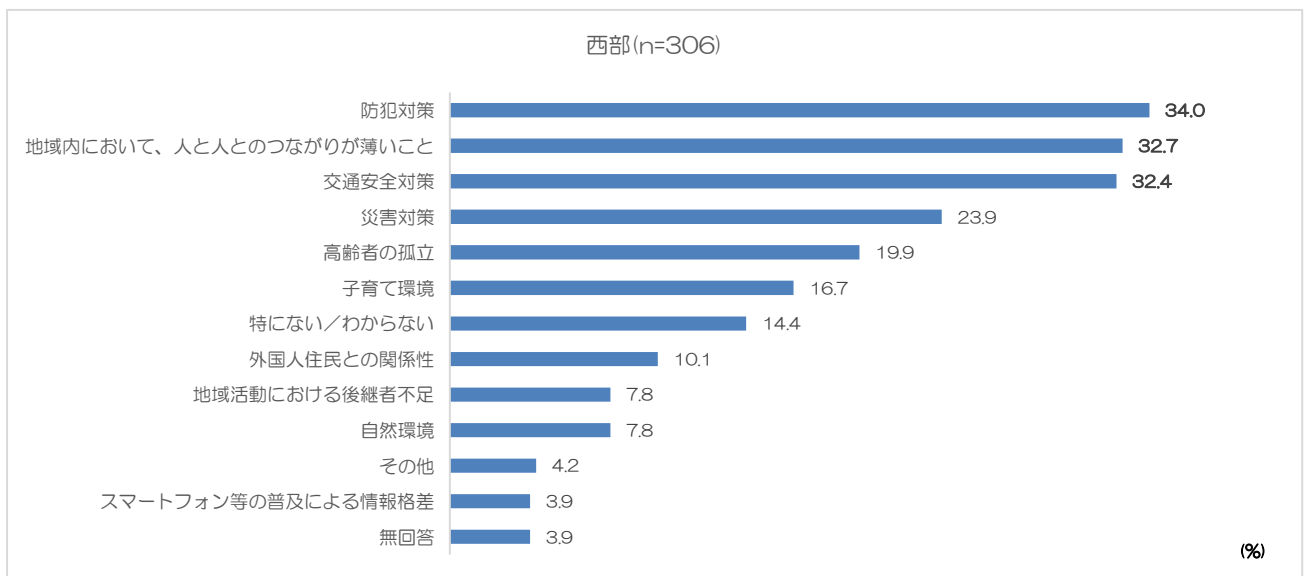
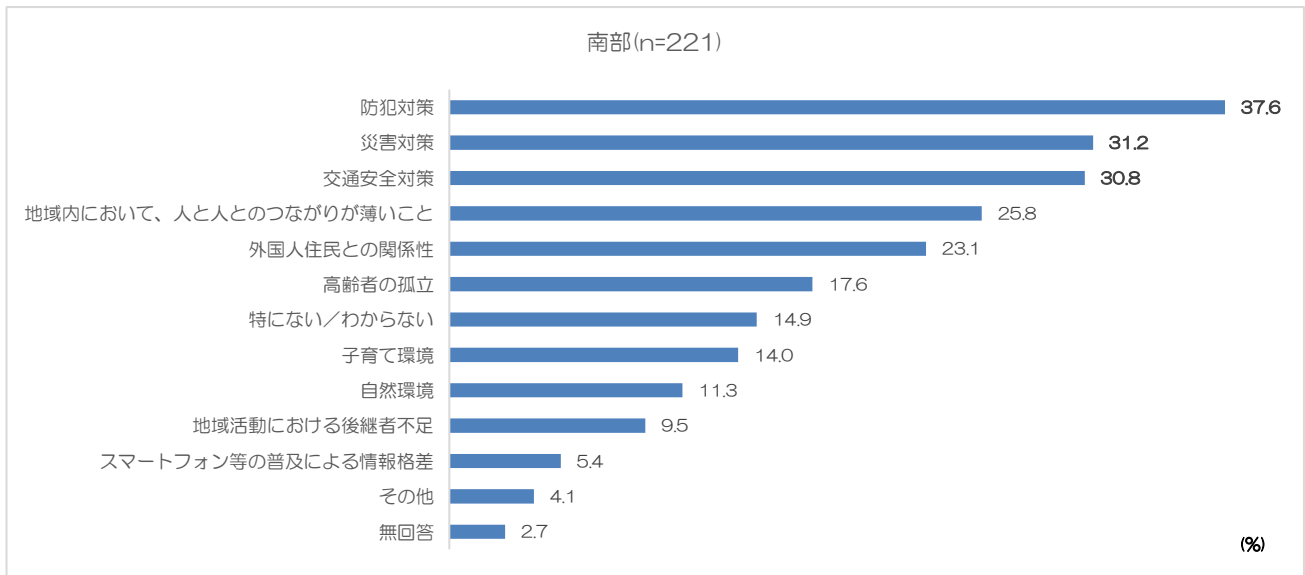
【Q9】あなたが、お住まいの地域について心配なことはなんですか。(〇はいくつでも)

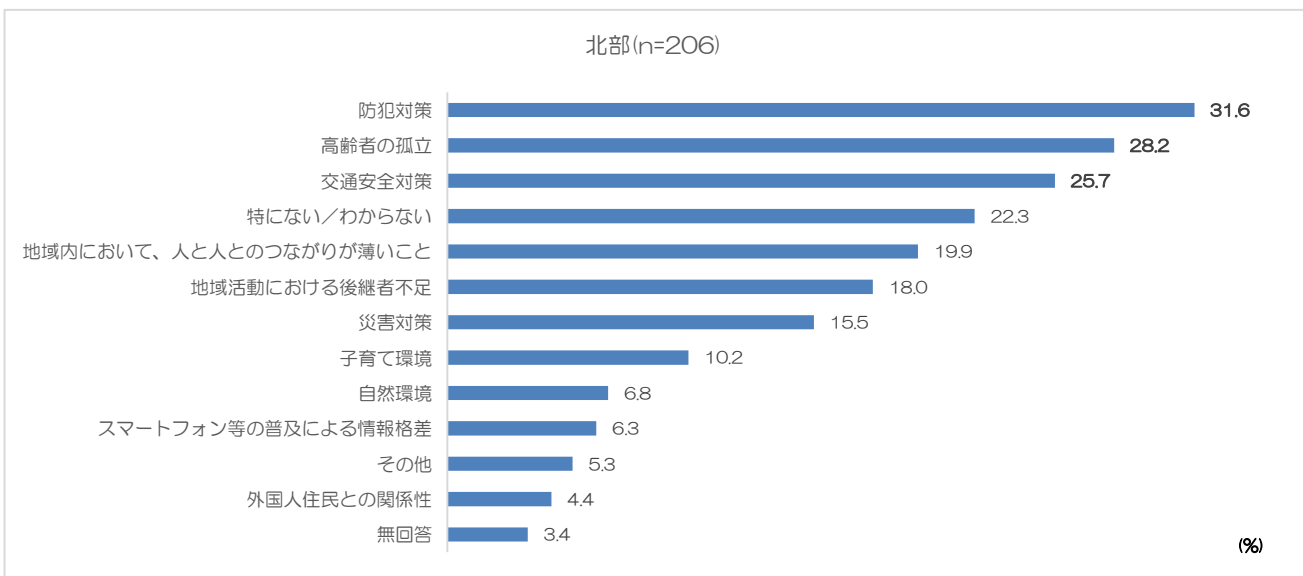
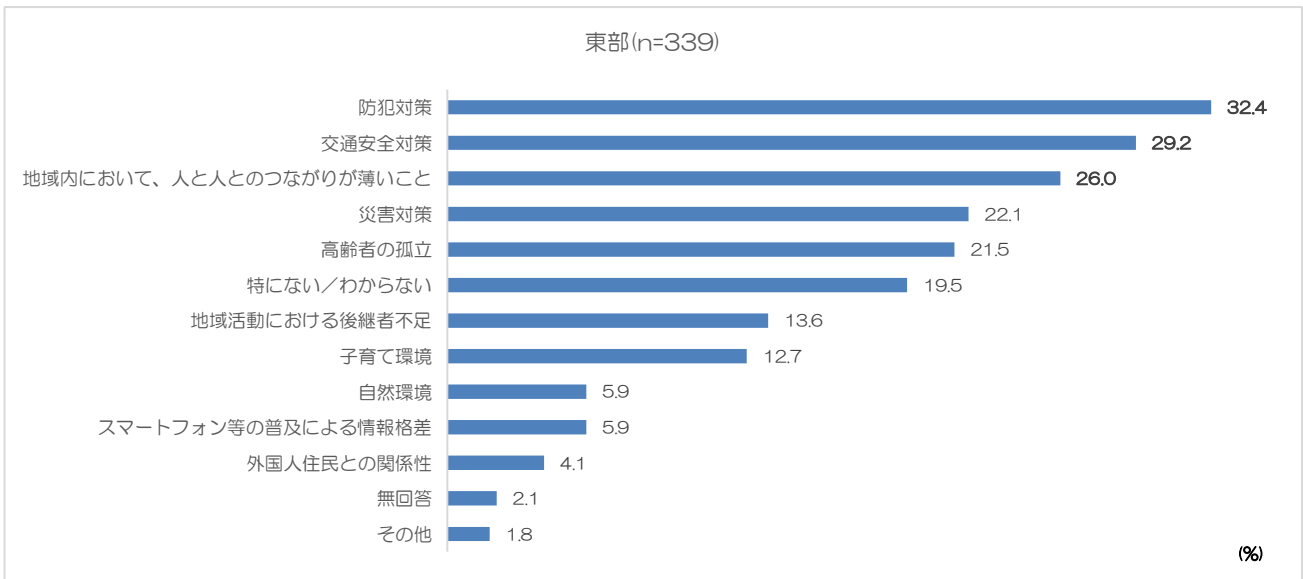
いずれのブロックでも「防犯対策」が最も多く選択されました。

西部ブロックで「地域内において、人と人とのつながりが薄いこと」、北部ブロックで「地域活動における後継者不足」、中部・北部ブロックで「高齢者の孤立」、南部ブロックで「災害対策」及び「外国人住民との関係性」が多く選択されました。



【行政ブロック別】





(4) 各行政ブロックの特徴と特に積極的に推進する取組等

南部

ブロックの特徴

本文中の「①」等の数字は、「特に積極的に推進する取組等」の数字と対応しています。

- 船橋港や三番瀬があり、海を身近に感じられるブロック (①) です。古くから海と共に栄え、灯明台のある船橋大神宮、また、東照宮のある船橋御殿跡等の歴史的な資源があります。現在では、人が多く集まる船橋駅があり、にぎわいのある商業施設や商店街があります。
- 人口推計による令和10年(2028年)の推計値をみると、宮本地区・湊町地区・本町地区・海神地区ともに、平成30年(2018年)の実績から増加する見込みです。
- 居住人口は、生産年齢人口である15~64歳の割合が高く (②)、「生涯学習に関するアンケート」における「今後学習したい形態や場所では、他ブロックと比較し、「インターネット」や「自宅での学習活動」が多く (③) 選択され、また、「今後希望する情報収集方法」は、他ブロックと比較し、「インターネット」「SNS」が多く (④) 選択されました。
- 南部ブロックは、市内で最も外国人住民が多く (⑤)、(令和3年4月1日時点)、「生涯学習に関するアンケート」における、「居住地域について心配なこと」では、他ブロックと比較し、「災害対策」(⑥) と併せて 「外国人住民との関係性」(⑦) が多く選択されました。
- 「生涯学習に関するアンケート」において、他ブロックと比較し、「学びの成果を自分以外のために活かしている人材の割合」が最も高い (⑧) ことも特徴で、「学びの成果を自分以外のために活かそうとする時に必要なこと」としては、「同じ分野の人材交流」が最も多く (⑨) 選択されました。

特に積極的に推進する取組等

- ① 海を生かした学習の推進
- ② リカレント教育の推進【I-1-4】(39ページ)
- ③ 時間や場所にとらわれない学習の提供【I-1-1】(36ページ)
- ④ 学習に関する情報の集約と発信方法の充実【I-3-1】(46ページ)
- ⑤ 日本語教育の充実【I-1-2】(37ページ)
- ⑥ 防災学習の推進【II-2-1】(50ページ)
- ⑦ 多文化共生のための学習の推進【I-2-3】(43ページ)
- ⑦ 地域における交流機会の創出【II-2-3】(51ページ)
- ⑧ 活動へつなげるコーディネート機能の強化【II-3-2】(52ページ)
- ⑨ 地域・社会で活躍する人材・団体の育成と支援【II-1-1】【II-1-2】(49ページ)

主な生涯学習施設等

- 公民館(中央・浜町・宮本・海神)
- 中央図書館
- 青少年会館・青少年センター
- 総合教育センター・プラネタリウム館・ふなばし市民大学校
- ふなばし三番瀬環境学習館
- 消費生活センター・勤労市民センター・市民活動サポートセンター
- 児童ホーム(若松・宮本・海神)・南本町子育て支援センター
- 南老人福祉センター
- 市民文化ホール・市民文化創造館・茶華道センター・市民ギャラリー
- 飛ノ台史跡公園博物館
- 武道センター・高瀬町まちかどスポーツ広場・若松公園・高瀬下水処理場上部運動広場
- ふなばし三番瀬海浜公園

西部

ブロックの特徴

※文中の「①」等の数字は、「特に積極的に推進する取組等」の数字と対応しています。

- 多くの農地が残っており、小松菜や枝豆が特産になる等、**都市型の農業が盛んなブロック(①)**です。
行田の海軍無線電信所跡の円形道路をはじめとして、東中山台遺跡群や印内台遺跡群等の歴史的な資源があります。
- 5路線が乗り入れる西船橋駅をはじめとして、駅が点在する地域で、大規模マンション・商業施設が建設されており、新しい小学校も開校しました。
市内で2番目に居住人口が多いブロック(令和3年4月1日時点)となっており、人口推計による令和10年(2028年)の推計値をみると、葛飾地区・中山地区・塚田地区・法典地区とともに、平成30年(2018年)の実績から増加する見込みです。
「生涯学習に関するアンケート」における、「居住地域について心配なこと」として、他ブロックと比較し、「**地域内において、人と人とのつながりが薄いこと**」が多く(②)選択されたことは、こうした背景も要因のひとつであると考えられます。
- 居住人口は、生産年齢人口である**15~64歳の割合が高く(③)**、「生涯学習に関するアンケート」における「今後学習したい形態や場所」では、他ブロックと比較し、「**インターネット**」や「**自宅での学習活動**」が多く(④)選択されました。
- 「生涯学習に関するアンケート」において、他ブロックと比較し、「学びの成果を自分以外のために活かしたい」と考える、「**これから地域・社会での活躍が期待される人材の割合**」が2番目に高く(⑤)、「学びの成果を自分以外のために活かそうとする時に必要なこと」としては「**知識・技能や経験を活かしたい人と活動の場を結び役割の充実**」が最も多く(⑤)選択されました。

特に積極的に推進する取組等

- ① 農地を生かした学習の推進
- ② 地域における交流機会の創出【Ⅱ-2-3】(51ページ)
- ③ リカレント教育の推進【Ⅰ-1-4】(39ページ)
- ④ 時間や場所にとらわれない学習の提供【Ⅰ-1-1】(36ページ)
- ⑤ 活動へつなげるコーディネート機能の強化【Ⅱ-3-2】(52ページ)

主な生涯学習施設等

- 公民館(西部・法典・丸山・塚田・葛飾)
- 西図書館
- 児童ホーム(西船・塚田・法典・本中山)
- 西老人福祉センター
- 法典公園・行田運動広場
- 行田公園

ブロックの特徴

※文中の「①」等の数字は、「特に積極的に推進する取組等」の数字と対応しています。

- 市の中央に位置し、水田や畑・牧場があるエリアがある等、**豊かな自然が残されているブロック (①)** です。
また、市で初の国の史跡となった、東京湾東岸部最古の貝塚である取掛西貝塚をはじめとして、夏見台遺跡群等の歴史的な資源があります。
- 居住人口は、**65歳以上の割合が高く (②)**、「生涯学習に関するアンケート」における、「居住地域について心配なこと」として、他ブロックと比較し、「**高齢者の孤立が多く (③)**」選択されました。令和10年(2028年)の市全体の高齢化率の推計が24.6%であるのに対し、高根・金杉地区の推計は37.1%、高根台地区は33.7%、新高根・芝山地区は32.0%となっており、高齢化率が高くなっています。また、人口推計による令和10年(2028年)の推計値をみると、平成30年(2018年)の実績から減少する見込みです。なお、夏見地区は、高齢化率の推計が22.4%と市全体の高齢化率より低く、人口も増加する見込みです。
- 「生涯学習に関するアンケート」において、他ブロックと比較し、「学びの成果を自分以外のために活かしたい」と考える、「**これから地域・社会での活躍が期待される人材の割合が高く (④)**」、「学びの成果を自分以外のために活かそうとする時に必要なこと」としては、「**同じ分野の人材交流が最も多く (⑤)**」選択されました。

特に積極的に推進する取組等

- ① 自然を生かした学習の推進
- ② デジタルデバインド対策の推進【I-1-1】(36ページ)
- ② 高齢期を豊かに生きるための学習の推進【I-1-5】(40ページ)
- ③ 地域における交流機会の創出【II-2-3】(51ページ)
- ④ 活動へつなげるコーディネート機能の強化【II-3-2】(52ページ)
- ⑤ 地域・社会で活躍する人材・団体の育成と支援【II-1-1】【II-1-2】(49ページ)

主な生涯学習施設等

- 公民館(高根台・高根・新高根・夏見)
- 児童ホーム(高根台・金杉台・夏見・新高根)・高根台子育て支援センター
- 中央老人福祉センター
- 運動公園・高根木戸近隣公園・夏見台近隣公園

ブロックの特徴

※文中の「①」等の数字は、「特に積極的に推進する取組等」の数字と対応しています。

- 人が多く集まる津田沼駅があり、ブロック内及びその周辺には、複数の大学があるため、たくさんの学生が行き交うブロック (①)です。
また、下総三山の七年祭りがおこなわれる二宮神社をはじめとして、多くの指定文化財や遺跡があります。
- 令和3年4月1日現在、市内で最も居住人口が多く、人口推計による令和10年(2028年)の推計値をみると、平成30年(2018年)の実績から増加する見込みです。居住人口は、生産年齢人口である15~64歳の人口が最も多く (②)、「生涯学習に関するアンケート」における「今後学習したい形態や場所」では、他ブロックと比較し、「インターネット」や「自宅での学習活動」が多く(③)選択されました。
しかし、令和10年(2028年)の市全体の高齢化率の推計が24.6%であるのに対し、二宮・飯山満地区は27.6%、三山・田喜野井地区は31.2%、習志野台地区は28.4%となっており、高齢化率が高くなっています。なお、前原地区は19.4%、薬円台地区は23.1%と市全体の高齢化率より低くなっています。
- 「生涯学習に関するアンケート」において、他ブロックと比較し、「地域で活躍する人材 (これから地域・社会での活躍が期待される人材を含む)」の割合が最も高く(④)、「学びの成果を自分以外のために活かそうとする時に必要なこと」としては、「地域活動・ボランティア活動の情報提供の充実」が最も多く(⑤)選択されました。

特に積極的に推進する取組等

- ① 大学と連携・協働した事業の実施
- ① 大学生を対象とした取組の推進
- ② リカレント教育の推進【I-1-4】(39ページ)
- ③ 時間や場所にとらわれない学習の提供【I-1-1】(36ページ)
- ④ 活動へつなげるコーディネート機能の強化【II-3-2】(52ページ)
- ⑤ 活動に関する情報の収集と発信【II-3-1】(52ページ)

主な生涯学習施設等

- 公民館(東部・三田・飯山満・習志野台・薬円台)
- 東図書館
- 三山市民センター
- 児童ホーム(前原・習志野台・三山・飯山満・薬円台)
- 東老人福祉センター
- 郷土資料館
- 総合体育館・北習志野近隣公園・薬円台公園

北部

ブロックの特徴

※文中の「①」等の数字は、「特に積極的に推進する取組等」の数字と対応しています。

- 畑・果樹園を主体とする農地が広がるエリアがあり、**農業が盛んなブロック(①)**です。
市内で初めて前方後円墳が発見された小室台遺跡等の歴史的な資源があり、また、古くから続く民俗行事や石造物が現在も受け継がれています。
- 北部ブロックの居住人口は、**65歳以上の割合が高く(②)**、「生涯学習に関するアンケート」における、「居住地域について心配なこと」として、他ブロックと比較し、「**高齢者の孤立(③)**」と併せて「**地域活動における後継者不足(④)**」が多く選択されています。また、他ブロックと比較し、「学びの成果を自分以外のために活かしたい」と考える、「**これから地域・社会での活躍が期待される人材の割合も低く(④)**」なっており、「学びの成果を自分以外のために活かそうとする時に必要なこと」としては、「**地域活動・ボランティア活動の情報提供の充実(⑤)**」が最も多く(⑤)選択されました。
- 令和10年(2028年)の市全体の高齢化率の推計が24.6%であるのに対し、二和地区の推計は28.1%、三咲地区は25.0%、八木が谷地区は38.2%、松が丘地区は41.8%、大穴地区は38.9%、豊富地区は39.0%となっており、高齢化率が高いことが特徴として挙げられます。また、人口推計による令和10年(2028年)の推計値をみると、三咲地区を除き、平成30年(2018年)の実績から減少する見込みです。なお、坪井地区は、宅地化が進んで**子育て世代が増加しており(⑥)**、高齢化率の推計は14.9%と市全体の高齢化率より低く、人口も増加する見込みです。

特に積極的に推進する取組等

- ① 農地を生かした学習の推進
- ② デジタルデバйд対策の推進【I-1-1】(36ページ)
- ② 高齢期を豊かに生きるための学習の推進【I-1-5】(40ページ)
- ③ 地域における交流機会の創出【II-2-3】(51ページ)
- ④ 地域・社会で活躍する人材・団体の育成と支援【II-1-1】【II-1-2】(49ページ)
- ⑤ 活動に関する情報の収集と発信【II-3-1】(52ページ)
- ⑥ 子育て世代を対象とした取組の推進

主な生涯学習施設等

- 公民館(北部・二和・三咲・八木が谷・小室・松が丘・海老が作・坪井)
- 北図書館
- 青少年キャンプ場
- 児童ホーム(小室・八木が谷・松が丘・三咲・坪井)
- 北老人福祉センター
- 豊富まちかどスポーツ広場・大穴まちかどスポーツ広場・小室公園
・大穴近隣公園
- ふなばしアンデルセン公園

